資料１

活動テーマに係る調査（１回目）の中間報告について

１　ヒアリングのテーマ

「多様化する子どもの『居場所』を知る・考える」

２　目的

子どもの中でも特に中高生の話を聞くことを目的として、児童センターで子どもに直接意見を聞く

３　ヒアリング概要

（１）日時　令和８年９月２日（水）　午後４時 30 分～６時

（２）場所　下保谷児童センター（保谷駅から徒歩７分）

※音楽スタジオ等があり、中高生利用者が多い特化型児童館

（３）参加者　５名

平井委員（専門部会長）、鈴木委員、高松委員、西原委員、山﨑委員

（４）ヒアリング内容

①対象

小学生：３グループ

中学生：２グループ

高校生：６グループ

②来館目的　※（ ）内の数字は回答数

・スタジオ利用（5）

・友達と遊ぶため（2）

・卓球（1）

・自習（1）

③どのような居場所を求めているのか　※（ ）内の数字は回答数

・無料で静かに勉強できる場所（7）

（児童センターは勉強には賑やかすぎる、図書館は自習できる席が少ない）

・カフェのように自習や会話、食事ができ、リラックスできるところ　(4)

（おしゃれな場所、武蔵野プレイスのような施設等）

・下保谷児童センターのように楽器の練習ができる場所　(4)

（学校のスタジオはバンド毎に交代で利用、吹奏楽部が優先等で確保が難しい）

・映画館、テーマパーク等の娯楽施設　(2)

・音楽を発表できる場所（1）

・英語を話す機会　(1)

・野球ができるところ　(1)

・室内で遊べる場所（熱中症にならない涼しい場所）　(1)

④安心でき守れられていると感じる場所

・家や家族がいる場所

・大人がいる場所

（児童センターは職員数も多く気にかけてくれる、優しくて自分の意見を大切にしてくれる大人がいる場所等）

・学校（災害に強い）

・友達が多くいるところ

⑤誰といるのが居場所と感じるか、居場所と感じる時

・友達
・家族、親
・同じ目標や趣味をもっている仲間
・優しい先生
・自分の部屋にいる時

⑥役割や意義を感じられる場所について

・学校行事等での係活動（文化祭、行事、海外の人の案内等）
・アルバイト（外国人アルバイトの人も多く、自分がまとめる役割）
・バント活動（自分のパートを全うする、お互いを理解し合い練習する）
・スポーツ以外で、音楽等を多くの人に披露できるところ
・中学時代の生徒会（何かを変える、周りから頼りにされる、自信がつく）
・大会等で表彰される時

⑦悩みの種類と相談先等について

【悩みの種類】

・勉強に関する悩み
・文化祭に関する悩み
・静かに自習できる場所が減ってきている(ファミレス、カフェ等)

【相談先】

・親に相談
・友達に相談
・学校の先生に相談
・スクールカウンセラーに相談（私立中）
・同じような経験がある人や信頼できる人に相談
・勉強の悩みは、勉強ができる友達に相談
・相談はせず、カフェ等に入って一人で考える
・親や先生には相談しない
・悩み相談のためにＳＮＳやスマホ等は使わない
・学校等自分の周りに居場所に悩んでいる人はいないが、学校に来ないと悩みがあることもわからない

⑧その他

・自宅近くにも下保谷児童センターのような施設があると良い
・友達が信用して話している大人であれば、自分も安心して話せる
・その他の友達と一緒に過ごす場所としては、カフェ、公園、池袋、ディズニーランド等
・下保谷児童センター（スタジオ）と図書館（自習）を自転車で行き来している
・インバウンド観光に力を入れてほしい、イングビルの観光案内所（多文化共生センター）は暗くて入りにくい